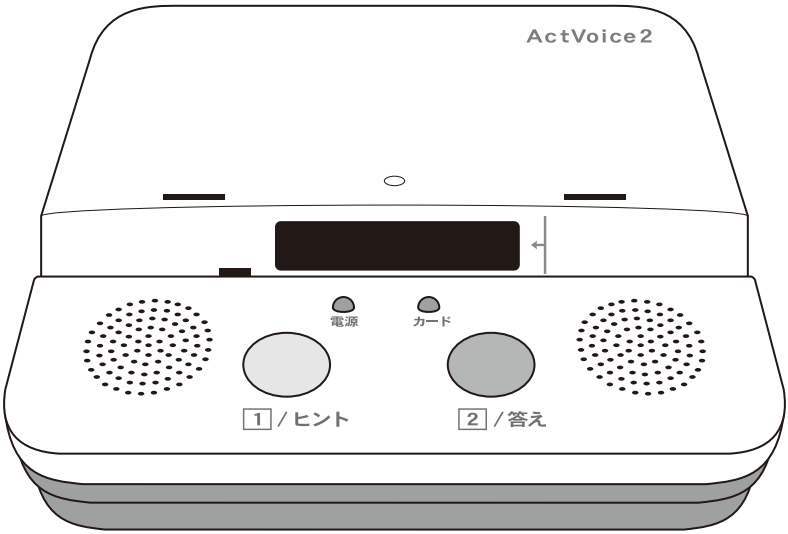
株式会社エスコアール

ActVoice®2

取扱説明書



保証書付

●このたびはActVoice2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●ご使用になる前にこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる場所に大切に保管し、必要なときにお読みください。

●取扱説明書で使用しているイラストは実際の製品と異なる場合があります。

目次

目次 …… 2
ActVoice 2 対応カード一覧 …… 2
同梱品一覧 …… 3
安全上のご注意 …… 4
ActVoice 2 各部の名称 …… 7
ActVoice 2 の準備・終了方法 …… 8
基本的な操作 …… 9
設定カードの使い方・確認カードの使い方 …… 10
応用的な操作
- ●イヤホンできく …… 11
- ●リモコンをつないで使用する …… 11
- ●バーコードスキャナをつないで使用する …… 12
- ●オリジナルカードを作成する …… 12

故障かな？と思ったら …… 14
仕様 …… 15
アフターサービス …… 15
保証書・サポート窓口 …… 16

ActVoice2 対応カード一覧

2015 年 2 月現在

● ActCard 各巻　● ActCard 2コマ　● ActCard 4コマ（将来発売予定）

● ActCard 文字版　● ActVoice対応 音楽カード

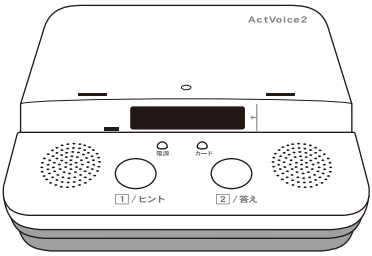
● ActVoice用ブランクカード　●絵カード2001

● ActCard イラストシート集

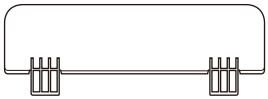
◆いずれもエスコアールより発売
※名称は変更になる場合があります。

同梱品一覧

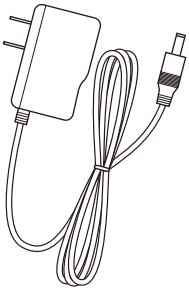
初めてご使用になる前に、次のものが揃っているかご確認ください。



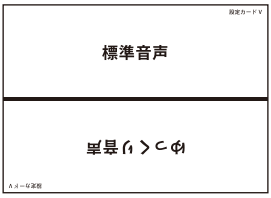
ActVoice2 本体



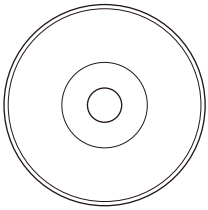
カードスタンド



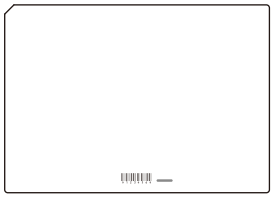
AC アダプター



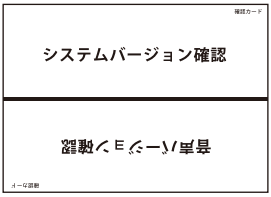
設定カード（3枚）



CD-ROM



ブランクカード（5枚）

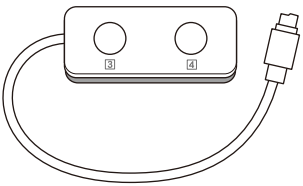


確認カード（1枚）

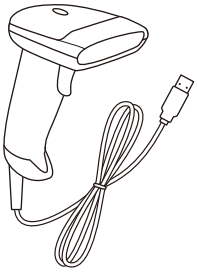
【その他の付属品】

ActVoice2オリジナルカード作成方法冊子、取扱説明書（本書）、保証書（本書P.16）、ユーザー登録ハガキ

オプション品（別途購入）



リモコン（3 4 ボタン）



バーコードスキャナ

- PC用USBマイク
- 音量調節付イヤホン
- 音量調節付延長コード

※電池使用の場合は単三乾電池（6本）をご使用ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください。
本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、内容をご理解の上、守っていただきたい事項を記載しています。

表示・図記号の説明

危険　人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告　人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意　人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

禁止行為を示す図記号　　指示行為を示す図記号

危険

こげくさいにおい・煙・異音が出るなど普段と違う異常を感じたときや、AC アダプター・リモコンのケーブルに傷みが見られる場合はすみやかに使用を中止し、購入店もしくは弊社サポート窓口（⇒P.16）までご連絡ください。

高温になる場所では使用しない

火や暖房器具の近く、直射日光のあたる場所炎天下などでの使用や保管・放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

警告

指定の AC アダプターを使う
指定以外のものを使うと、火災や感電の原因となります。

電源プラグはしっかり根元まで差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。

電源プラグのほこりやゴミは定期的にとる
ゴミが付着したまま使用すると感電、ショート、発火の原因となります。

ほこりや湿気、油煙、湯気の多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災や感電、故障の原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電、故障の原因となります。

AC アダプターやリモコンのケーブルを傷つけない
加工、加熱、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、巻き付ける、重い物をのせる、挟み込むなど破損につながる行為を行わないでください。
傷ついたまま使うと、火災や感電の原因となります。

通電中の AC アダプターに長時間触れない
通電中の AC アダプターは温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。

乳幼児の手の届く所で使用しない
口に入れたり、ケーブルを首に巻き付けたりすると事故や怪我、故障の原因となります。

濡れた手で使用しない、水に濡らさない
故障、感電の原因となります。また、AC アダプターの抜き差しは絶対に濡れた手でしないでください。

⚠警告

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
コードに引っかかって怪我をしたり、感電や火災の原因となります。

お手入れは乾いたやわらかい布で拭く
シンナーやベンジンを使用すると変色や変形する場合があります。また揮発したガスにより引火し、爆発や火災の原因となります。

イヤホン使用のときは音量に気を付ける
はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳を痛める可能性があります。
また、大きな音で長時間続けて使用すると、耳に悪い影響を与えることがあります。

本機の上に物を置かない
重いもの、液体の入った容器、または金属物を置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。

強い衝撃を与えない
投げる、落とす、踏みつけるなど、無理な力が加わると故障の原因となります。
また、落ちる可能性のある不安定な場所には置かないでください。

使用条件とその他のご注意

・本製品は屋内での使用を前提として設計・製造されています。また、精密な電子部品が組み込まれています。そのため以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  ・直射日光下、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房機・加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  ・砂、ほこり、ちりの多い場所
  ・火気のある場所
  ・水に濡れやすい場所
  ・激しい振動のある場所

・寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、本体内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、本体を室内の温度になじませてからご使用ください。

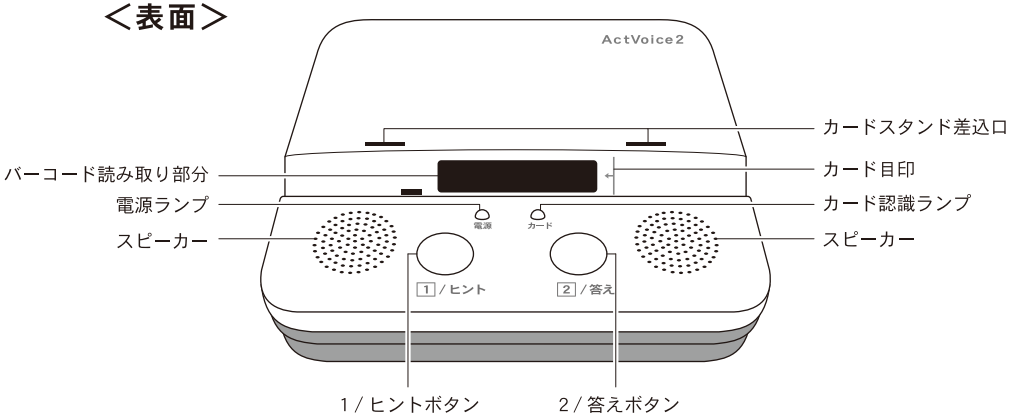
・本書の内容については改善のため将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番など、最新の情報については弊社サポート窓口までお尋ねいただくか、弊社ホームページをご確認ください。

・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一不審な点、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらサポート窓口までご連絡ください。

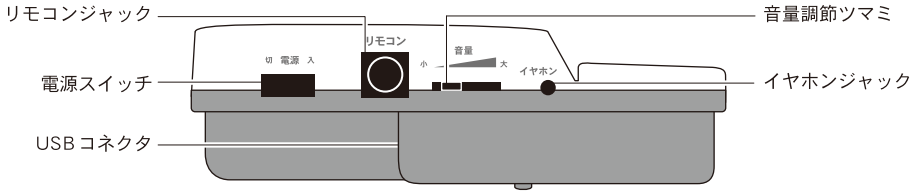
・本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止しています。また、無断転載は固くお断りします。

ActVoice2 各部の名称

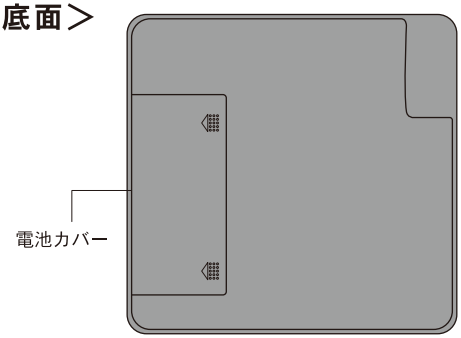
＜表面＞



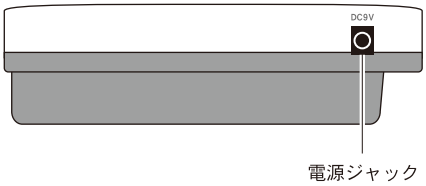
＜左側面＞



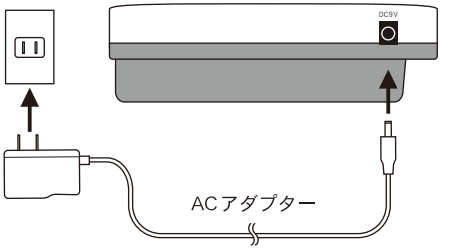
＜底面＞



＜背面＞

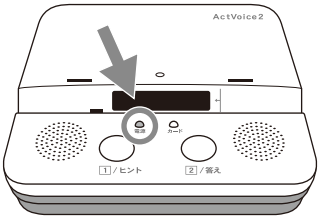


ActVoice2 の準備・終了方法



ACアダプターを本体背面の電源ジャックに差し込みます。

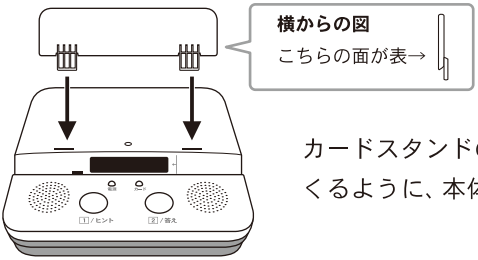
コンセントを使わず電池を使用する場合は本体底面の電池カバーへ単三電池を 6 本入れてください。



本体左側面にある電源スイッチを「入」にすると、電源ランプが緑色に点滅します。

しばらくして点灯に変わったら準備完了です。

カードスタンドの取り付け方



カードスタンドの足の部分に出っ張りが無い面が表にくるように、本体のカードスタンド差込口に入れます。

※アクトカードやオリジナルカード使用時にはカードスタンドは必要ありません。
将来発売予定（2015 年 2 月現在）の 4 コマカードなど縦長のカードを使用する際に必要になります。

終了方法

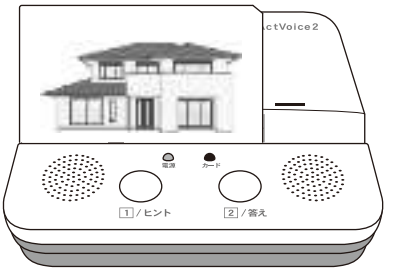
① 本体左側面の電源スイッチを「切」にします。

② 電源ランプが緑色に点滅している間は終了動作中です。

③ 緑色ランプが消えてから、AC アダプターを抜いてください。

基本的な操作

ここでは ActCard（別売）を使用した使い方を説明します。



ActCard はイラスト面を表に向け、本体左端に合わせて溝に立てます。
カードの右端はカード目印の縦線に合わせます。

カードの読み込むと名称（答え）を発声します。

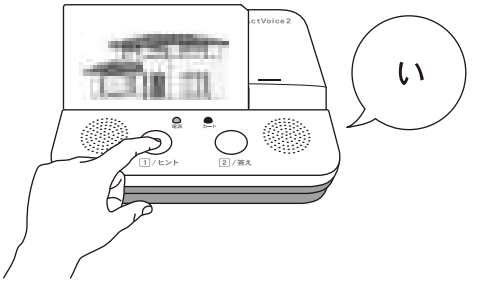
赤ランプが点滅したら読み取りエラーですので、カードを置き直してください。

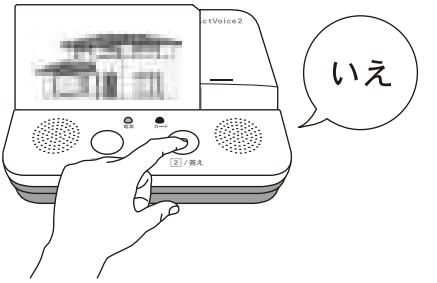
◆ヒントを聞きたいときは……

1 / **ヒント**ボタンを押すと、イラストの語頭音（ヒント）が流れます。

◆もう一度答えを聞きたいときは……

2 / **答え**ボタンを押すと、イラストの名称（答え）が流れます。





ActCard を本体にのせ、ボタンを押したときだけヒント・答えを発声させる設定にすることもできます。⇒設定カードの使い方 P.10

! 応用

- 音量は本体左側面の音量調節ツマミで調節できます。
- ActCard をのせて音声が流れている途中でカードをはずすと、音声を止めることができます。

⚠ 注意

- 本機を使用する際、日光など強い光が当たる場所で使用するとバーコードの読み取りが悪くなります。屋外や屋内窓付近での使用は避けてください。
- バーコード認識ランプが点灯する前にボタンを押しても音声は流れません。点灯を確認してからボタンを押してください。

設定カードの使い方

付属されている３枚（６種）の設定カードを使用し、下欄のように設定の変更ができます。

設定カード（確認音声）	設定
標準音声	発声速度を標準にする
ゆっくり音声	発声速度をゆっくりにする
ボタン押下時〔１〕発声	１ボタンを押すとヒントを発声
カードセット時〔１〕発声	バーコードを読込後すぐに自動でヒントを発声
ボタン押下時〔２〕発声	２ボタンを押すと答えを発声
カードセット時〔２〕発声	バーコードを読込後すぐに自動で答えを発声

◆出荷時は「標準音声」「ボタン押下時〔１〕発声」「カードセット時〔２〕発声」に設定されています。

例：ボタンを押した時にだけ答え（名称）を発声させたい場合
→「ボタン押下時〔２〕発声」の設定カードで設定を変更します。

設定方法

図例：「ゆっくり音声」を設定する場合

設定カードはそれぞれ対になる機能の内容が上下半分ずつに分かれています。
設定したい機能の文字が読める方向に、本体中央に置きます。（カードの左右が本体から出ない場所ならどこでも読み取ります）

本体表面中央のカード認識ランプが赤色に点灯し、確認音声を発声したら設定完了です。

赤ランプが点滅したり、確認音声が発声されない場合は読み取りエラーですので、カードを置き直してください。

⚠ 注意

- ヒント（１文字）にゆっくり音声はありません。
- ２コマ・４コマカード使用時は「ボタン押下時〔1〕発声」「ボタン押下時〔2〕発声」に設定してください。

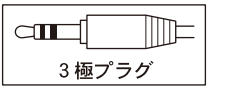
確認カードの使い方

本体のバージョン情報を確認するときに使用します。使用方法は設定カードと同じです。
カードを読み取ると、現在のバージョン情報を再生します。
確認カードの確認音声はボタンを押したときにも発声します。

応用的な操作

イヤホンで聞く

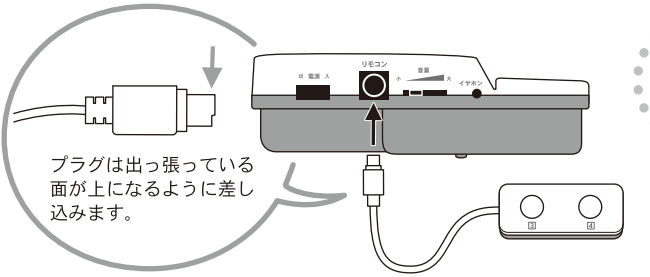
本体左側面のイヤホンジャックにイヤホンのプラグを差し込みます。
一般のプラグが３極のステレオイヤホンを使います。
イヤホン接続時には本体のボリュームが使用できなくなるため、音量調節付イヤホンか音量調節付延長コードを介してつないでください。



⚠ 注意

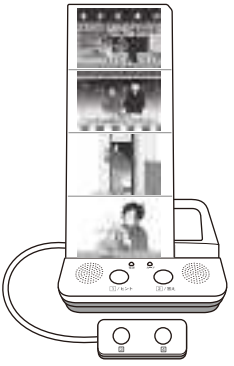
● イヤホンをそのままつないだだけでは音量が大きすぎるため、必ず音量調節を行ってください。

リモコンをつないで使用する



ActCard 4コマ（別売・
将来発売予定※）を使う時に
使用します。

※2015年2月現在



本体左側面のリモコンジャックへリモコンプラグを差し込みます。

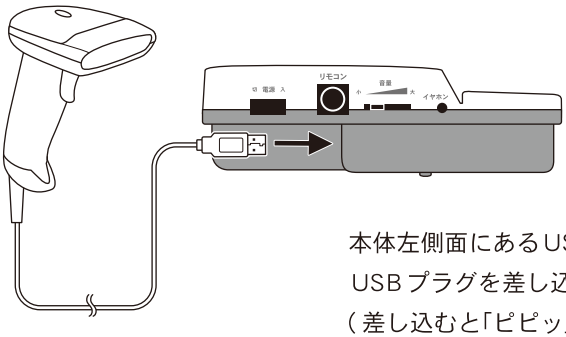
各ボタンを押すと、各コマの答えが発声されます。

1 **ボタン**：１コマ目の答え　　2 **ボタン**：２コマ目の答え
3 **ボタン**：３コマ目の答え　　4 **ボタン**：４コマ目の答え

⚠ 注意

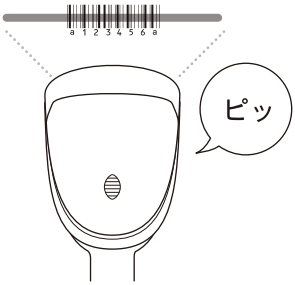
● 別売りオプションの専用リモコンをご使用ください。

バーコードスキャナをつないで使用する



ActCardイラストシート集（別売）を
使う時に使用すると便利です。

本体左側面にあるUSBコネクタにバーコードスキャナの
USBプラグを差し込みます。
（差し込むと「ピピッ」という音が鳴ります）



バーコードスキャナを５cm程度離してバーコードに向けます。
グリップについている黄色いボタンを押すとレーザー光が照射され、「ピッ」という音がして読み取りが完了します。

バーコードスキャナを使用した後、通常の絵カードで使用する場合は、本体を一度再起動（電源を切って再度入れる）をしてください。

! 応用

● バーコードスキャナを使用の際は「カードセット時〔２〕発声」の設定がおすすめです。
バーコードを読み込むとすぐに答えを発声します。⇒設定カードの使い方 P.10

⚠ 注意

● 別売りオプションの専用バーコードスキャナをご使用ください。

オリジナルカードを作成する

オリジナルカードを作成するには　①ブランク（無地）カードを用意し、②カードに対応して発声させたい音声（ヒントや答え等）を録音する必要があります。

【カードの種類】

１）**付属品のブランクカード**（同一規格のブランクカードの別売品もあります）
※この方法が一番簡単です。

2）**「バーコード面印刷 1000 枚 .pdf」を使用して印刷したカード**

付属 CD-ROM 内のデータファイル「バーコード面印刷 1000 枚 .pdf」で印刷します。
用紙は市販のはがきサイズでなるべく厚手の用紙をご使用ください。
プリンタでの印刷では周囲に数ミリの余白が生じますが、使用には問題ありません。

※念のため、1 枚だけ印刷して ActVoice2 で読み込めるか確認してください。
印刷した用紙のバーコードが裏面下方になるように本体に載せます。正常にバーコードを読み取ると赤ランプが点灯し、音声は何も出ません。赤ランプが点滅したら、読み取りエラーです。

3）**〈上級者対象〉自由サイズのブランクカード**

任意のサイズのカードに、バーコードを印刷します。
バーコードの種類は NW7 になります。前後に小文字の「a」を付け、番号は数字 6 桁で、910000 ～ 990000 の範囲で付番してください。（例：a910000a）
印刷位置は用紙中央下部より 5mm の位置にバーコードの線の下端がくるようにしてください。バーコードの高さは 10mm 以上、幅は 25 ～ 30mm の範囲にしてください。
また、バーコードに対応する番号のみをバーコードと異なる位置に配置します。
バーコードを簡易な方法で作成するには CD-ROM 内にあるバーコードフォント「ESCOR_NW7_NN.TTF」を使います。「ESCOR_NW7_NN.TTF」を使用する場合、半角英数字でフォント間は密着させ、フォントサイズは 28 ～ 32 ポイントに設定してください。

※念のため、1 枚だけ印刷して ActVoice2 で読み込めるか確認してください。

【カード表面の作成】

バーコードが印刷されていない無地の面に写真やイラストを貼ります。
プリンタで付属のブランクカードに印刷する場合は A6 サイズまたはハガキサイズの設定で印刷が可能です。
（印刷の仕方は各プリンターの取扱説明書をお読みください。
機種によっては印刷できないこともあります）

【発声させたい音声（ヒントや答え等）の録音】

別添小冊子の「ActVoice オリジナルカード音声作成方法」をご参照ください。

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、下欄の内容をご確認ください。

症 状	確認する箇所
電源が入らない	ACアダプターが本体とコンセントに正しく差し込まれていますか？ または電池が切れていたり、間違った向きで入っていませんか？
カードをのせても 認識ランプが点灯しない	ActVoice2 対応以外のカードを使用していませんか？（⇒P.2）
	カードのバーコードが読み取り部分にのっていますか？（⇒P.9）
	カードイラスト面をバーコード読み取り部分にのせていませんか？
	屋外や窓際などの日光が強く当たる場所で使用していませんか？ ⇒日光など強い光が当たる場所で使用するとバーコードの読み取りが悪くなります。 屋外や屋内窓付近での使用は避けてください。
ヒント・答えボタンを 押しても音声が流れない	スピーカーの音が小さく設定されていませんか？
	スピーカーを手や物でふさいでいませんか？
	カード認識ランプが点灯する前にボタンを押していませんか？（⇒P.9）
ヒントや答えが自動で再生されない	「ボタン押下時〔1〕発声」「ボタン押下時〔2〕発声」の設定にしていませんか？（⇒P.10）
ボタンを押していないのにヒントや答えが再生される	「カードセット時〔1〕発声」「カードセット時〔2〕発声」の設定にしていませんか？（⇒P.10）
イヤホンから音が聞こえない	イヤホンがジャックに正しく差し込まれていますか？（⇒P.11）
	指定のイヤホンを使用していますか？（⇒P.11）
	イヤホンの音量が小さく設定されていませんか？ ⇒イヤホン接続時には本体の音量調節が使用できなくなるため、イヤホンについている音量調節機能で調節してください。
イヤホンからの音が大きすぎる	指定のイヤホンを使用していますか？（⇒P.11） ⇒イヤホン接続時には本体の音量調節は使用できません。イヤホンをそのままつないだだけでは音が大きすぎるため、イヤホンについている音量調節機能で調節してください。
バーコードスキャナが反応しない	バーコードスキャナがジャックに正しく差し込まれていますか？（⇒P.11）
	指定のバーコードスキャナを使用していますか？
リモコンが反応しない	リモコンがジャックに正しく差し込まれていますか？（⇒P.12）

仕様

ActVoice2 本体

品　　番	ACV002
種　　類	言語訓練装置
使 用 電 源	専用ＡＣアダプター / 単三乾電池６本
消 費 電 力	動作時：約３Ｗ　待機時：約１Ｗ
スピーカー出力	0.5Ｗ×２
接 続 端 子	リモコン端子 / イヤホン端子 /ＵＳＢ端子
外 形 寸 法	約 縦18cm× 横18cm× 高さ５cm
重　　さ	約 500ｇ
外 装 材 質	ABS 樹脂

※この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。
※仕様については改善のため将来予告なしに変更することがあります。最新の情報については弊社サポート窓口までお尋ねいただくか弊社ホームページをご確認ください。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い
　必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえお買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より１年間
　詳しくは保証書をご覧ください。
3. 修理をお申し付けされるとき
　≪保証期間中≫
　保証書と本体を購入店にお持ちいただくか、弊社にご連絡ののち保証書を添えてお送りください。
　保証書の記載内容に基づき修理いたします。
　また、お送りいただく際の運送費についてはお客様ご負担でお願いします。
　≪保証期間を経過しているとき≫
　修理すれば使用できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

【修理料金の仕組み】
修理費は技術料・部品代などで構成されています。
技術料…故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代…修理に使用した部品代金です。

【ユーザー登録について】
ソフトウェアのバージョンアップやその他のアフターサービスをご利用いただくためにもユーザー登録をおすすめします。

ActVoice2 保証書

製品名：ActVoice2	製品番号：ACV002
保証期間：お買い上げ日より 1 年	
お買い上げ日：　　年　　月　　日	
お名前（ふりがな）	
ご住所	
電話番号	
販売店	

保証規定

1. 取扱説明書などの注意書きに沿った正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合は、商品と本書をご提示いただくことにより無償修理いたします。

2. 修理は、お買上げ店、又は弊社にて対応させていただきます。
なお、初期不良と判断した場合を除き、送料はお客様負担とさせていただきます。

3. 迅速に修理をすすめる為に、故障と思われた症状をあらかじめご連絡いただければ幸いです。

4. 次のような場合は、保証期間内でも有償修理となります。
●ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障・損傷。
●火災・地震・落雷・風水害・異常電圧などの天変地変や外的要因による故障・損傷。
●本書のご提示がない場合。

5. 次のような場合は、免責事項といたします。
●ご購入製品について、弊社の重大な過失を除き、損害賠償額は購入代金までといたします。
●弊社が性能を確認したにもかかわらず、ご使用の環境によりお客様の期待する品質・性能が現れない場合、返品にて対処させていただきますが、損害の責任は負いません。

6. 本書は、日本国内においてのみ有効です。また、再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ActVoice2 サポート窓口

電話でのお問合せ
0438-30-3095
受付時間：平日10:00 ～ 17:00
（土日祝日・弊社休業日を除く）

メールでのお問合せ
support@escor.co.jp
受付時間：24 時間 / 対応時間：平日10:00 ～ 17:00
（土日祝日・弊社休業日を除く）

製品名・製品番号・お買い上げ日・お名前・電話番号・故障の状況をお伝えください。

株式会社エスコアール　〒292-0825 千葉県木更津市畑沢 2-36-3　http://escor.co.jp/

ACV002PT201502